



雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

工藤武彦さん(60)
美保子さん(58)
＝衣川区古戸＝

衣川区の街中にある工藤農機具店。来客にうれしいコーヒーをこちそうし、笑顔と会話があふれるこのお店は、地元農家の御用達です。

店を経営する工藤夫妻の出会いは、お見合いでした。武彦さんは美保子さんが見合い会場に入って来た瞬間、その笑顔に一目惚れ。美保子さんは武彦さんの話し上手なところに惹かれました。

農繁期に入る3月から5月

まで、工藤夫妻に休みはありません。先代の教えである「お客様の手を2時間休ませるな」がモットーで、機械の不調があればすぐ駆け付けます。『「工藤に頼んでよかったです」とお客様が笑顔を見せてくれた時が何よりうれしい』と、武彦さんはほほ笑みます

一方、事務や接客で店を守る美保子さんは、持ち前の笑顔で仕事と子育てを両立してきました。「長女の結婚式が一番の思い出」という家族思いの美保子さんに、武彦さんは心から感謝していました。

「今まで仕事で忙しくしてきましたが、60歳になることだし、二人でたくさん出掛けようと約束しているんです」と笑顔で話す二人。最近はお京で「はとバス」に乗り、観光した思い出を楽しそうに話してくれました。結婚して早37年。これから先も二人は笑顔が絶えず、夫婦の思い出は増えていくことでしょう。



及川 ^{りょうが} 凌牙 くん
(衣川区・衣里小学校6年)

Interview

夢トク

将来の夢は
「メジャーリーガー」

——学校での役割は？

保健委員長です。手洗い・うがいの呼び掛けや、健康観察のチェックなどをしています。衣里小
学校の児童は元気が自慢です！

——小学校生活の思い出は？

僕が5年生の4月に平泉町から転校して来た時、みんなが温かく迎えてくれたことです。最初は不安だったけれど、すぐに仲良くなることができました。

——前の学校との違いは？

以前通っていた長島小学校には合奏団がありましたが、衣里小学校は剣舞に取り組んでいるこ

とです。剣舞は初めてで難しかったけれど、舞を覚えられた時はすごくうれしかった。学校のほかに、剣舞同好会にも入っています。

——将来の夢を教えてください。

メジャーリーガーです。スポ
少で野球を始めて、テレビ中継を
見るようになったのがきっかけ。
日本のプロ野球よりレベルが高
いメジャーでプレーしたいです。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

毎朝シャドーピッチングをしています。田中将大選手よりも
すごい投手になりたいです！



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

19

青春讃歌

水沢南中学校
生徒会執行部

伝統を受け継ぎ さらに高めて次の世代へ

水沢南中学校は、創立 46 年、「文武両道」を校訓とし、生徒数 658 人の大規模校。「美しい学校」を目指して清掃活動に力を入れているほか、合唱練習にも積極的に取り組んでいます。

生徒会執行部は、“今までの伝統を受け継いで新しい伝統を作る”を目標に掲げ、あいさつの活性化や「生活優良賞」の取り組みなどを行っています。生活優良賞とは、生徒たちの生活を分野ごとに点数化し、期間中、最も得点の高かった組団を表彰するもの。例えば福祉委員会ではペットボトルのキャップ収集量を、保健委員会では給食の食べ残し量を点検します。生徒会執行部は、服装や授業態度の点検を担当。「これまで南中生は生活態度にいろんな問題があったけれど、取り組みを通して少しずつ改善されてきた」と、生徒

会長の佐藤好さん（3年）は効果を実感しています。
「大切なのは、取り組み期間が終わってもその雰囲気
を終わらせないこと」と話すのは副会長の佐藤美月さ
みづき さん（3年）。点数として目に見えなくても継続するこ
とで、本当の定着につながるのです。

生徒会執行部には、明るく活発で、発想力が豊かなメンバーが勢ぞろい。ひとたび会議が始まれば、意見が次々と飛び交います。そんな彼らが設定した、平成27年度の生徒会スローガンは「深・真・進」。南中の伝統をしっかりと受け継ぎ、深めることで本物にし、さらに一歩前進する——という意味が込められています。「先輩方が築き上げてきた大切な伝統。自分たちの代でさらに高めて、後輩たちに引き継ぎたい」と、佐藤会長のまなざしはまっすぐ前を見据えています。



桜の便りが次々に聞かれる
この折、皆さんいかがお過ご
しでしょうか。

地域6次産業化の取り組みを紹介します。2月に「奥州食の黄金文化祭2015」をおやつフェスティバル」を初めて開催しました。市内産の食材を使って製造・販売している菓子店など33店舗が出展し、ケーキやシュークリーム、煎餅など130種以上の和・洋菓子が販売されました。当日は4千人もの親子連れなどが詰め掛け、売り切れが続出するなど予想を上回るにぎわいを見せました。仕掛けが良ければ大きなにぎわいを生み出すことができることをあらためて感じたところです。

また、市では奥州地産地消
こだわりの店「う^{まい}米のおう
しゅう食の黄金店」の認定制
度を創設しました。年間を通

じておおよね50%以上の市産食材を使用するという認定基準を設けています。今回は前沢牛、奥州牛を提供する飲食店など4店舗を認定しました。今後、ホームページや食のイベントで情報発信し、市の食文化をPRしてまいります。

先月14日にJ.R水沢江刺駅が開業30周年を迎え、駅西口広場で記念式典が開催されました。水沢江刺駅は、地元住民の熱心な活動が実を結んだ全国初の請願駅です。国際ニアコライダーの施設建設が実現すると、さらに多くの利用が見込まれます。南岩手と首都圏を結ぶ玄関口として、更なる発展を期待します。

先月14日にＪＲ水沢江刺駅が開業30周年を迎え、駅西口広場で記念式典が開催されました。水沢江刺駅は、地元住民の熱心な活動が実を結んだ全国初の請願駅です。国際リニアコライダーの施設建設が実現すると、さらに多くの利用が見込まれます。南岩手と首都圏を結ぶ玄関口として、更なる発展を期待します。

日本を代表するテノール歌手の福井敬さんが、第65回芸術選奨文部科学大臣賞を受章されました。福井さんは、水沢区出身で奥州大使を務めています。日本のオペラ公演の水準を高めたことが評価されました。心よりお祝いを申し上げます。今後も福井さんの益々のご活躍を心より願っております。

奧州市長 小沢昌記